

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 3 月 29 日

仕事の内容	在宅医療介護連携推進事業		
担当部署・課長名	高齢介護	課 地域包括ケア推進	係 課長名 伊野宮 崇

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	2 - 2	-
【施策名】 高齢者保健福祉の推進	総合計画書 (ページ)	51	

予算名	款 4 地域支援事業費	項 3 包括的支援事業・任意事業費	目 3 在宅医療・介護連携推進事業費	事業 1 在宅医療・介護連携推進事業費
-----	-------------	-------------------	--------------------	---------------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市内65歳以上高齢者	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 65歳以上高齢者人口
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、市及び地域における医療・介護関係機関が連携し、多職種協働により在宅医療・介護を一体的に提供できる体制の構築。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 在宅医療・介護連携支援センターが受けた相談件数
	③ そのために何をしましたか。 ①平成29年度から在宅医療介護連携支援センターを設置し医療機関及び介護事業所からの相談を受け付けた。 ②専門職間の情報共有等を目的とした在宅医療・介護連携推進のための地域における多職種連携研修会を実施した。 ③在宅医療介護連携推進部会を開催し、医療・介護連携に関する課題について協議した。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①平成30年度相談件数：いもくほ1,096件、なんがい1,109件、計2,205件 ②2回 ③3回

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	22,350	22,711	22,902		
	成果指標	②の数値	0	1,731	2,205		
	目 標	②の目標値			1,731	2,205	
	目標値設定の考え方		医療機関及び介護サービス事業所の連携を図るため、前年度実績を目標に設定した。				
活動指標	③の数値		②2回 ③3回	①1,731件 ②2回 ③3回	①2,205件 ②2回 ③3回		

3 経費	事業費(実績)		円	83,868	3,805,838	13,886,582	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	16,354	475,729	2,695,333	
		特定財源 (うち受益者負担)	円	67,514	3,330,109	11,191,249	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.5	0.5	
		所要人数(再任用)	人				
		職員人件費(再任用以外)	円	1,646,600	4,116,500	4,122,000	
事業費+人件費		円	1,730,468	7,922,338	18,008,582		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大さい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 平成27年4月から、在宅医療介護連携推進を目的として開始。平成29年度から市内の医療機関及び介護サービス事業所の連携及び相談窓口として、在宅医療介護連携支援センターを市内2か所に設置した。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 多職種間の関係構築が進んでいる。

仕 事 の 内 容	在宅医療介護連携推進事業			
担当部署・課長名	高齢介護	課	地域包括ケア推進	係 課長名 伊野宮 崇

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	なし			
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。(複数回答可)			
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体： ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート「7 課題(2)」の内容 多職種の方々の意見を取り入れるために、研修会に招く講師を医師会だけでなくそれぞれの専門分野から依頼する等工夫した。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 平成30年9月に開催した多職種連携研修会では、東大和市歯科医師会の歯科医を講師に招き、多職種で口腔ケアについての実践研修を行った。平成31年1月に開催した多職種連携研修会では、薬剤師やケアマネジャーも講師として講演を頂いた。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 この事業を推進するためには、医師会・歯科医師会・薬剤師会等の幅広い協力を得ることが必須である。			
	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」)の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など ・多職種間で連携がとりやすいよう、会議の運営・環境整備・事業者間の関係性など繋ぎ役を担っていく。 ・市民に対しても普及啓発をしていく。			
8 今後の方向性	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・専門職間の連携を取りやすい体制の構築。 ・市民に対して在宅療養について理解を深めることができる機会を作っていく。			
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
	成果	成果を向上させる。		経費 仕事の経費は維持する。